



★本人の特性を理解した学習指導のコツや教育的支援は、教育力のスキルをアップさせます。否定的から肯定的への注意の仕方を理解して、実践している方は、教師や保護者問わず、生徒理解や子育てのポイントを知っている方です。私は、このことを理解するのに、相当時間がかかりました。特別支援教育に携わってから、学んだことなのでごく最近だと思います。相手との距離感や物の見方・感じ方の広がりという意味で失敗もたくさんしてきましたがその分、たくさん学ぶことができました。感謝する日々です。★

前号の続きです。

### □「気づき」が「支援」の始まり→自分の取り扱い説明書

- ・特性のある子どもとして少し広く考えてみる
- ・見え方、聞こえ方、感じ方に特性がある→いろいろな人がいることを理解してあげる。
- ・わざとではない、勘違いでない
- ・よく見なさい、聞きなさい、我慢しなさい・・・という対応だけでは難しい→辛さを理解してあげる力が支援者に必要です。
- ・学び方の特性に気づき、学びやすい方法を丁寧に教える対応や子育てが必要。



### ◇保護者の立場

- ・自分の子どもは、「わがまま」「怠けている」と思い、子どもにきつく当たってしまう→子どもは一生懸命取り組んでいるが、プロセスより結果を言われることに、次がんばろうという気持ちには、なかなかない。
- ・「あそこの親は子どもの躰ができていない」、「愛情不足」「甘やかしすぎ」などと言われる。→今、取り組めることを最大限大切にすることで良い。
- ・子どもが引き起こすトラブルのたびに、周囲の人たちへの謝罪に追われる→保護者の方が辛い思いをします。それを理解してくれる人は、周りにどれくらいいるでしょう。

### ◇発達障がいと虐待の関係

- ・発達障がいのある子どもが虐待を受ける危険性は、より大きいと推定されています。
- ・背景に、発達障がいのある子どもの「育てにくさ」による保護者のストレスや不安があります。●発達障がいの早期発見と支援の重要性。
- ・虐待による発達障がいの症状●被虐待児の学力水準は低い
- ・情緒障がい、多動性や衝動性、発達の遅れ、重い脳障がい等を引き起こすことがある。→反応性愛着障がいと勘違いされることもある。



3年藤田すずなさんのイラスト  
→すだちの教室にあるカラコエの花です。



### 未来は、キミの中にある！

[エピソード] 高校の3年間、太陽黒点の変化を調べ続けていた私に、先生がくれた言葉です。「きっと法則を見つける日が来る。未来はキミの中にあるぞ！」と。大学で航空宇宙を専攻して20年。今も、未来を見つめています。北海道「シリウスの風」さん(43歳)20年の取り組みを維持しているキミを尊敬しています。そして、その言葉をかけた先生に感服しています。すずなさんの絵も素敵です。絵に関わる仕事が見つかることを祈っています。